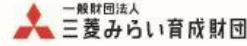


PDA 東海公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2024

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2024年6月22日（日）13:00-17:00

会場：オンライン（Zoom）



参加校：7校、8チーム（愛知県立岡崎高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、
静岡県立静岡高等学校、静岡県立浜松北高等学校、
静岡県立清水東高等学校、三重県立四日市高等学校、
神奈川県立相模原高等学校 [Swing]）

参加者：生徒28名、教員13名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学、広島大学、同志社大学、北九州市立大学

はじめに、PDA 代表理事の中川智皓より、「激動の時代の中で、これから身につけていくべき力は頭で考えて表現していく力です。ディベートは何回やっても異なる価値観や知見に出会えます。交流大会を通してたくさん知見を広げていってください。」とメッセージが送られました。続いて、PDA ディベート推進委員長より、「ディベートを通して切磋琢磨することはもちろん、対戦校との交流時間もあるので、交流も楽しんでください。」とメッセージが送られました。さらに、静岡県立静岡高等学校の織田校長先生より、「自分に自信を持って、失敗を恐れずにたくさん英語を使ってほしい。」と英語でご挨拶をいただきました。参加校の紹介では、参加する高校生が“Nice to meet you !!!” “I’ll do my best !!!” と元気よく挨拶しました。ルールの確認では、POI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）の練習が行われ、「POI!!!」と言いながら片手を頭に乘せてもう片方の手を伸ばすPOIのポーズを行いました。



全員で「POI!!!」

POIの練習が終わると、早速第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は“**Cashless payment should be mandatory.**（キャッシュレス決済を義務化すべきである。）”でした。肯定側も否定側も、より安全な決済方法はキャッシュレスと現金のどちらかという点について、それぞれの決済方法の特徴に着目しながら分析しました。また、肯定側はキャッシュレス決済の利便性を強調し、否定側は子供の教育という観点から、利便性が低かったとしてもお金の価値や使い方を考えられる現金の良さを強調しました。ディベートが終わると、ディベートの練習方法を共有したり、教室から見える富士山を共有したりと交流を深めました。



浜松北 VS 岡崎 A



相模原 VS 清水東



岐阜 A VS 静岡



POI!!!



エアー握手（浜松北 VS 岡崎 A）



ディベート後のエアー握手（岐阜 A VS 静岡）

続く第2ラウンドのお題は、“**We should introduce a female quota in university admissions.** (大学入試に女性枠を設けるべきである。)”でした。肯定側は、現状の社会における女性への偏見に着目し、その偏見によって特に科学分野において男性優位であることを分析して、女性枠の必要性を主張しました。否定側は、この女性枠によって入学することができた学生や周りの学生の行動を分析し、特に科学の分野において男女平等に学力を評価することの重要性を強調しました。疑問が浮かぶとすかさず POI を行い、質疑応答をする場面も見られました。ディベートが終わると、お互いの制服についてや、自分の信念とは逆の立場になった時のディベートのコツについて、交流する様子が見られました。



岡崎 A VS 相模原



すかさず POI ! (岐阜 B VS 静岡)



準備時間 (浜松北)



富士山を見せて交流 (岐阜 B VS 静岡)



ジャッジ待ちの交流 (岡崎 VS 相模原)

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は“**We should study abroad in the UK in high school. (高校時代にイギリスに留学すべきである。)**”でした。

肯定側は、イギリスに留学をすることで英語力の向上や文化の違いを学ぶこと、そして価値観を広げることができること、そしてその重要性を主張しました。否定側は、英語はオンライン等でも学べることや、イギリスの独自性を用いて文化や言語の習得のメリットに反論した上で、留学先で何を学ぶことができるのかが重要であることを指摘し、自分の学びたいものをにあわせて、適切な時期に留学する重要性を説明しました。

エキシビションディベートの論題に関連して、準備時間中には Tazaki 財団の正木様よりスカラシップのご案内がありました。

エキシビションディベートでは、オーディエンスの生徒はフローシートを用いて判定理由を考えながらディベートを観戦しました。複数名に判定理由を尋ねると、「イギリスの文化や良さをもっと深められるともっとよかった」「肯定側の主張する“いい経験”が高校生でのみえられるものなのかが不明瞭だと感じた」など、定義や POI の内容、まとめなど全てを総合的に評価できていました。エキシビションディベーターは「学ぶことがたくさんあった。」「普段考えることのできない論題について、自分の信念と異なる立場であってもすぐに答えを出すことは難しく、やりがいがある。」「いろんな人の視点で物事をみることができたのが楽しかった。」「今までやってこなかった論題で難しかったが、他校と交流ができてすごく楽しかった。」とコメントをしました。



2024年6月

公益財団法人
Tazaki 財団

バイリンガル・バイカルチャーの真のグローバルリーダーに

当財団は意欲のある若者の
「英国留学」を全面支援いたします!



1

Tazaki 財団 正木様よりご案内



聞き手を意識してスピーチ



ディベート後のエアークラップ

閉会式では、表彰式のあと、PDA ディベート推進委員長より、「英語力や論理的思考力を身につける方法はたくさんありますが、授業の中で行うツールの一つとして、ぜひ今後もやってもらいたいと思います。是非今後の夏合宿や全国大会にも参加してほしい。」と講評のコメントが送られました。

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 相模原高校 _____さん
- ・ LO 静岡高校 _____さん
- ・ MG 静岡高校 _____さん
- ・ MO 岐阜高校 B _____さん
- ・ LOR 四日市高校 _____さん
- ・ PMR 岡崎高校 _____さん

〈チーム賞〉

- 1位 静岡高校
- 2位 四日市高校
- 3位 岐阜高校 B チーム
- 4位 岡崎高校 A チーム
- 5位 浜松北高校



浜松北高校

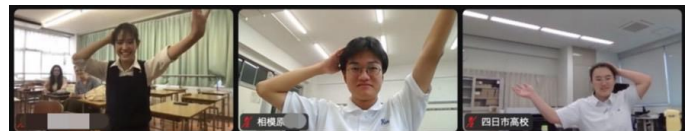
〈ベストディベータ賞〉 ★は2回選ばれた生徒

- ・ _____さん (相模原) ★
- ・ _____さん (静岡) ★
- ・ _____さん (浜松北)
- ・ _____さん (浜松北)
- ・ _____さん (静岡)
- ・ _____さん (静岡)
- ・ _____さん (四日市高校)
- ・ _____さん (岐阜 B)
- ・ _____さん (岡崎 A)



〈POI賞〉

- ・ _____さん (相模原) ★
- ・ _____さん (四日市高校) ★
- ・ _____さん (浜松北)



参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・他校との交流を積極的に行うことで、チームとしても個人としても成長できる機会でした。(岐阜)
- ・ディベート自体とても楽しかったです。一度負けたことと、エグジビションに選ばれなかったのが悔しいので、これからも頑張ります。(四日市)
- ・他の高校の人のディベートの力や、英語力に圧倒されたところもありましたが、とても楽しく話すことができました！(岐阜)
- ・今日は自分的に深いディベートが出来なかったのが悔しいです。(清水東)
- ・初めて、他の高校の方と交流試合をしたのですが、緊張感があってよかったです。(岐阜)
- ・本校の生徒たちはエキシビションの間、出場者以外の生徒もフローシートを書いてみて、自分たちの考えを深めようと努めていました。他校の生徒さんの姿を見て良い刺激になったと思います。大会運営にあたりご尽力いただきありがとうございます。(教員)
- ・部内でやるディベートよりも深い議論ができたり、他の学校と交流ができたりしました。エキシビションディベートの論題が今まで見たことがないし、考えたことのないもので難しかったけど面白かったです。(清水東)
- ・基本的なディベートの知識が抜けていて、納得のいくディベートができず、悔しかった。次回以降リベンジしたい。(浜松北)
- ・普段から深く考えてることがあっても本気で語り合える機会はあまりないので与えられた立場で互いに共感しながら議論をするのが楽しかったです。負けてしまっても悔しいけど達成感もあって普通ならもらえないジャッジの方々のフィードバックで思いつかなかったけどめっちゃわかるみたいな意見が面白かったです。(四日市)
- ・とても楽しかったいい経験となりました。(相模原)
- ・自分の意見が思ったように言えずに焦ることもあったが、とてもよい経験になった。(浜松北)
- ・論理的に考える大切さを痛感しました。次も頑張ります！(岐阜)
- ・非常にためになる素晴らしい機会をくださり、ありがとうございます。とても楽しかったです！(静岡)
- ・ジャッジをしたとき、メモが英語からいつの間にか日本語に変わっていることに気が付きました。自分はまだ英語脳ではないと分かったので、来年の今頃までには英語脳になって、選抜メンバーになりたいです。(岐阜)
- ・3ラウンドも参加させていただいて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。(岡崎)